

## 第5回 番組審議会議事録

1. 開催日 令和8年3月20日 金曜日 午後6時半から
2. 開催場所 FM 大師スタジオ 川崎市川崎区東門前 1-13-7
3. 委員出席 委員総数 5名 出席委員数 3名  
出席委員の氏名 座長 石渡 茂  
小野沢 豪、森 明弘  
欠席 渡邊嘉行、石川弘行  
放送事業者側出席者名  
代表取締役 清水 暁 取締役局長 清水 成美

4. 議題 2026年2月3日 13時台放送 「毎日街角レディオ」について

### 5. 議事の概要

座長から挨拶があり、議事を進行していきました。

- ・話題を繋げるときに、え～とかが多く、言い間違えが多かった
- ・口調がゆっくりであるのはいいが、もう少しテンポと抑揚があるとより良いと思う。
- ・いかにもニュースの話を読んでいる感じであるので、リスナーに対して話かけているような感じのが良いと思う。
- ・全国ニュースは、触れないのはどうか。一般的な情報も教えて欲しい。
- ・地域話題に徹するのは良いが、政治的な話はともかく、1日の中で、重要な話題、今日でいうと、転覆事故の死亡事故件等は、話題としてどうなのか。

⇒地域の情報を発信するという原則でやっていることと、時間を決めて一般のニュースを流すとも決めておりません。それぞれのパーソナリティーが番組の構成を考えその中で放送しています。全国ニュースを入れないという事でもないですが、川崎話題に引き付けて話すよう努めています。(放送事業者)

・聞く人は、その時間で聞いていると思うので、曲開けで、毎回「東門前より～」等の枕詞を入れているが、くどく感じる。

⇒ずっと聴いている方も、いらっしゃいますが、途中から聴いている方もいるので、誰が話しているのか等は、重要な事と、考えています。(放送事業者)

- ・話題が薄いのではないか、情報を仕入れる時間がないと思われるがどうか。
- ・今回の方ではないが、あんまり聞いていて面白くない。活舌も悪く、言葉をかんじやう方もいる。

⇒同じ情報でもパーソナリティーの違った視点で話題として取り上げますし、地域の話題を発信するので、内容としては、面白いというものではない。しかし聴きやすさだったり、テンポよく話すなどの工夫をして、目の前に相手がいると思って情報を伝えるのは、必要だと思いますので、気を付けるように指導します。(放送事業者)

- ・放送を聴いているとどんな人かわかる。姿が見えるという事を想像して話して欲しい。  
=> 普段の気持ちの持ちようで、話すことは、心がけています。(放送事業者)
- ・これも、別の方の話だが、前の仕事の話とかをされる方がいるが、聞き飽きたというようになってしまう。  
=> あたり前ですが、自分事だけを話さないようにしている。  
それと、情報を足で取っていないと話す話題もないのだが、そういった努力が足りないのだと思います。真摯に受け止めます。(放送事業者)
- ・町会の話とかは、どうしているのですか？  
=> 回覧板の情報や、掲示板を見えています。(放送事業者)
- ・行事をやるときには、情報を渡しますので、放送してもらいたい。  
=> お金が必要なるイベント情報とかは、宣伝になるので、広告費が必要ですので、内容を、見させてもらいます。(放送事業者)

放送事業者として。

今回は、全体的に発信情報の薄さだったり、放送の仕方など、真摯に受け止め、反省し次に生かす課題を多く指摘されました。内容的に、当該時間の放送について、問題はないという事だったので、それだけが救いでした。

次回の審議委員会の予定は、7月24日第4金曜日。

## 6. 審議機関の答申又意見の概要の公表

第5回番組審議会の概要はFM 大師のホームページで公表する。